

空気のおいしい家

●はじめに

昨年2010年をしめくくる 最終の建物完成見学会も無事終了(11月27、28日) いたしました。たくさんの御来場、ありがとうございました。
長期優良住宅(200年住宅) 昭和町家の2世帯です。傾斜地にある長細い敷地を利用した、スキップフロア。見晴らしの良い2階のリビングダイニング。オール電化で、太陽光発電、ソーラーシステムはそよ風(環境創機株式会社)が設置しています。さっと新しい家で、良い新年を迎えられるでしょう。

●木と太陽の家 もくよう連の生い立ち

ここで私たちの活動をご紹介します。もくよう連とは、地域工務店で構成される、小さな協同組合です。もくよう連の、<もく>は木、<よう>は太陽の陽です。木と太陽を生かした住まいをつくらうという意味を表して名付けました。また、今は、時空を超えて情報をやりとりできる時代なのだから、それを大いに生かして、みんなとく連>を組もうということで、<もくよう>のあとに<く連>という言葉をあてました。もくよう連は、相互扶助の「原則」の通り、地域・地域でかけがえのない工務店同士が、お互いにノウハウをオープンにして学び合い、得意分野、不得意分野を補完しつつ、共同購入による仕入れの合理化や、建物の標準化、設計力、施工力強化のためプログラムも随時、計画実行されて、経営者、従業員の研鑽に励んでおります。そして又、パッシブソーラーシステム「ソーラーれん」の取り扱いを、「自然エネルギー研究所」と共同で押し進めています。これは、小さな工務店協同組合による、大きな試みです。

●ソーラーれんと次世代ソーラーシステム<そよ風>

URL <http://www.mokuyouren.jp/>

「ソーラーれん」は、金属製の屋根を利用して交換した空気を使う暖房システムです。冬は、昼間の太陽熱で得られる熱を利用して室温をかさ上げします。夏は、昼間の太陽熱を利用してお湯採りができたり、夜間の放射冷却を利用して室温を引き下げます。では、「そよ風」って? 「そよ風」も、金属製の屋根を利用して暖房システムです。「爽やかな心地よさ」を表現する言葉として<そよ風>と名付けられました。建物の規模や地域環境で、さまざまな組合せが可能になりました。「OMソーラーとはちがうのですか?」の質問の答えは、基本的には同じです。2006年12月26日、OMソーラーは基本特許期限が終了し、いつでも、どこでも、誰でも自由に組み立てることができます。

●設計事務所とコラボレーション

野沢正光先生設計の建方が始まりました。先生とは2度目のコラボです、パンビ幼稚園でお世話になりました。事前打合せの時、どう建てるかいろいろ意見が交わりましたが、ノボリタルキを下で合掌のパーツを組立、一つ一つ吊り上げこのような迫力のある骨組みが完成。なにごとにもなく上棟。でもこの建物には棟木が無いのです。



1階は、RC打ちはなし
2階は、杉の構造材
隣には、陶芸の釜小屋もある。



設計：野沢正光建築工房担当 中村 監督 山田

●メンテナンス あれこれ 車庫のスタイル

新築後数年して、車庫をつくりたいとのご相談を時々受けることがあります。建物との違和感がないように、かつ機能性も大事です。今まで手がけた車庫数例をご紹介します。物置を併用したり、車がない時は作業スペースになったり、子どもたちの遊び場になったりと、いろいろ使い道も多いです。ご検討されている方はお気軽にお声かけください。小澤社長のこだわりのスタイルをご提案致します。



hosoda

●OZ-STOCKer's

階段のディテール

建物いくつかの部品の組み合わせで一軒の建物が出来ています。今回のテーマとして階段を取り上げてみます。室内で一番事故の多い所です、つい最近も俳優の谷啓さんも階段の段板に頭部をぶつけて亡くなったという報道がありました。建物の段差のフロアとフロアをつなぐ唯一の手段です。敷地が小さければ建物は上に延ばさなければ生活の為の広さを確保出来ません。私の設計の中に、寸法のこだわりがいくつかあります。其のなかに階段も含まれています。建築基準法上、住宅であれば巾は750以上、蹴上げは230以上踏み巾150以上と、最低寸法で計画した場合、健康な人でもつらい階段だと思えます。使う人によって高さや変えることができない部品なのです。階高と階段のスペースが変わらない限り、建物が存在する限り毎日使うのです。流し台などは使う人の高さで注文出来、経験することができますが、階段は設計の中での話しになってしまいます、本当に使いやすいのか実感することができなく、出来上がって初めてその感触を実感する訳です。毎日のこと、疲れて帰って来た時の階段の上り下りのつらいことは、私自身経験致しました。また、いつもは履かない上履きを履いた時に上履きの厚さで、階段の踏板に引っかかって、落ちたこともありました。建物の計画をする上で少しでも安全で、不愉快な思いが無い寸法を心がけています。

ozawa



〒400-0061 山梨県甲府市荒川12-6-37
tel 055-251-1117 fax 0551-251-1119
e-mail:oz-standard@cotton.ocn.ne.jp

株式会社 小澤建築工房
URL <http://ozawa-standard.jp/>

OZAWA
STANDARD

●スタッフ あれこれ



富士の日の出
いつもは気にすることのない富士ですが、初めて撮影して、改めて「美しい山」と感じました。山梨は自然に恵まれ、美しい景色はまだまだまだたくさんあると思います。山梨の良さを大切にして、建築に携わっていきたいと思います。

新年を迎えて
今季は近年にない厳しい寒さとなりましたが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。冬は給湯ボイラーの故障が多い季節。今年は寒いので、例年より修理依頼が多いように感じます。ボイラーを設置して10年経過する方に多くみられます。不具合を感じましたら、お早めにご相談下さい。
また、乾燥対策は十分に行うよう心がけて下さい。風邪やインフルエンザも、乾燥した気候が原因です。ソーラーの家は、一般住宅より乾燥しますので、加湿器等、設置をおすすめします。



キッチン収納 Kubota
「扉の内側にラックがあれば・・・」
お客様のアイデアから、ワイヤーラックを取り付けました。ラックやフックをかけることで、調理器具や調味料、小さな食器類など、収納の用途は広がります。細かな雑貨をまとめて見やすく収納し、ホコリを気にすることなく、扉により外観はすっきりと見えます。お手持ちの家具にも、内側に収納するもの奥行きが確保できれば、取り付け可能です。ぜひお試しください。

●ソーラーハウス応援団！

最近ではブログをやっている方も多く、珍しくなくなりましたが、小澤建築工房で建てていただいた住まい手の皆様の中にもブログをお持ちの方がおります。時折、住まいのことについて書いていただいておりますので、今回はちょっと紙面にてご紹介させていただきます。

○11年前に夢科に山荘を建てられた生嶋様 <http://www.ikusan.net/>



～初詣&OMソーラーのこと～
いつも感じるけれど、山荘設置の「OMソーラー」（施工：小澤建築工房）は優れものなり。太陽光が暖房や換気してくれるシステムだが、この「タダ暖房」（と小生が勝手に呼んでいる）の暖かい風は、まことに身体に心地良い。癒される暖気なり。
同時にこれは当然ながら普段滞在していない時も太陽が出ていれば稼働しているわけ。厳冬期に山荘に到着した時、室内がほんのりと暖かいという利点がある。これが無いと冬季は冷え切った部屋を暖めるのに時間がかかり、「その間はブルブル震えていなければいけないので、冬はあまり別荘を活用しない。」（ご近所の老夫婦の話）ということになる。
避れば、この夢科山荘建築時に先人の方が何組か見学に来られてOMソーラーの話聞き、「うちもコレにすれば良かった」という感想があった。そして今も・・・。
（中略）
これらの幾多の利点を小生のみか家人がすっかりお気に入り、『これは、もっともっと世に知られるべきもの東京の自宅もこれにしてあげば・・・』という。我が家はOMソーラー応援団一家でもある。
（2011-1-6）

○2年前に勝沼の葡萄畑の中に建てられたwakacha様
<http://wakacha.exblog.jp/>
～我が家の防寒対策～

我が家は太陽の熱を蓄熱して家を暖めるomソーラーというお家に住んでいます。太陽がサンサン出た日は、♯♯が夜も本日の外気温0度です。が家の中は20度あります。暖房もつけずにいられ、ひーくんは半そで短パンです。（これはまた極端に薄着ですが。。）
我が家はコタツもないし、ヒーターもエアコンもまだ今のところ使ってません。朝も、18度くらいは今のところあるので、布団からもピョンとおきて朝のたくも楽チンにできます。太陽さんありがどうです。しかし太陽が出ないときはちょっと寒くも感じるので、そんなときは、防寒グッズがリビングに常備。寝袋。。。これめっちゃ暖かい。さすがマイナス7度まで対応してるので、これに包まればそのまま寝ちゃえます。（2010-12-25）



●メンテナンス～設備機器の更新

最近ボイラーが故障し、新しいボイラーに交換したお客様が数件あります。新築から15年ほど経過した家です。10年前後から故障が増え、15年近く経つと部品がなくて修理できないケースがでてきます。暖房機能付きのボイラーですと工事費含めて40万前後かかりますので、10年を経過したら設備機器関連のメンテナンス費用の予定を立てておいた方がいいかもしれませんね。
点検でお伺した時に、この先10年のメンテナンス計画についてお話をさせていただいております。気持ちよく快適にお過ごしいただくために、気になることなどありましたらお気軽に相談ください。

●住まいの耐震博覧会～参加レポート



2/12（土）・13（日）の両日、住まいの耐震博覧会が東京ビックサイトで行われ、お客様と一緒に12日にバスで行って参りました。耐震博覧会と銘打っていますが、家づくり全般について学べる盛り沢山の内容でした。建材メーカーが主催しているイベントなのですが、今のトレンドを掴んだり、これから家づくりを考えている方々の関心のポイントなどを肌で感じる事ができた1日でした。会場で会合した東京から参加の方もいっしょり、ブースをご一緒に少し廻らせていただきました。私自身は初めての参加だったのですが、混雑ぶりにはちょっとびっくりでした。
耐震や木の家づくり、太陽光発電といった内容に皆さんかなり関心が高いようです。個人的感想ですが、住宅関連メーカーが発信する情報を自分たちの視点で取捨選択するとともに、自分や家族と向き合い、本当に望んでいる住まいや暮らしのことについて話をする時間もたくさんあってほしいと感じています。

●Green & P オープン！～住まい手探訪

3年前に家を建てられて国玉の小川様の奥様が念願のオンラインショップを2月14日にオープン。プリザーブドフラワー&ZAKKAのGreen&Pというお店です。ホームページとブログ、ぜひ覗いてみて下さい。
HP <http://green-p.info/> Blog <http://ameblo.jp/green-p2010/>



●GOOD LIVING FAIR 2011.3.5（土）・6（日）開催！

今年も県内最大級の住宅関連総合展示会がアイメッセで開催されます。最新のIHヒーターやエコキュート、話題の太陽光発電なども展示されています。招待状がありますので、ぜひお問い合わせ下さい。

hosoda

●「バウビオロギーという思想」～おすすめの一冊

ドイツのアントン・シュナイダーという方が書かれたちょっと固めの本です。ドイツで生まれたバウビオロギー（建築生態学）は、建築（バウ）+生命（ピオ）+学問（ロゴス）を語源とし、人間性と気候風土を科学し、環境と健康に配慮した建築の創造を目的とする学問です。この中で示されている25の指針を見ると我々の家づくりの考え方に通ずる部分が結構あります。その中のいくつかをご紹介します。

4. 自然とむきあう、個性的で人間的な住環境とは
5. 自然素材を適材適所に
9. 断熱、蓄熱のバランスを
11. 太陽エネルギーを有効利用しつつ、放射熱による暖房を
22. 調和的な尺度、プロポーション、フォルム
25. 社会に負荷を与えない

この本に、「建物は第3の皮膚」という言葉がでてきます。外界とのやり取りをしながら温熱環境を調整するなど、確かにそういった面があると思います。あまり頭でかちになってはいけませんが、身体が感じていることに素直に耳を傾け、いろいろつながりの中で家を考えることは大事だと思います。

